

令和3年度

コンベンション統計
経済波及効果
アンケート調査結果

(公財) 高松観光コンベンション・ビューロー

香川県高松市サンポート 1-1

高松港旅客ターミナルビル 7F

TEL 087-822-7060 FAX 087-822-7062

<https://takamatsu.or.jp/>

目 次

コンベンション統計

I コンベンション関係統計資料の作成にあたって

1 種類別開催状況	1
2 月別開催状況	3
3 参加者数別開催件数	4
4 過去3年間の推移表	5

経済波及効果

II コンベンションのもたらす波及効果について

1 経済的波及効果	6
2 社会的波及効果	6
3 コンベンション開催による直接的経済効果	7
4 コンベンション開催による間接的経済効果	11
5 コンベンション開催による経済効果（推計）	14
6 これまでの推移	15
平成27年香川県産業連関表	18

アンケート調査結果

主催者アンケート	20
参加者アンケート	23

コンベンションカレンダー

令和3年度コンベンションカレンダー	28
令和3年度支援実績	29

コンベンション統計

I コンベンション関係統計資料の作成にあたって

この統計は、令和3年度に高松市と近隣町の三木町、直島町、綾川町で開催された四国規模以上の大会（香川県内で開催され、補助金を交付したスポーツ大会、及び合宿を含む）について、主催者、宿泊施設、会議施設等からの情報をもとに作成しました。

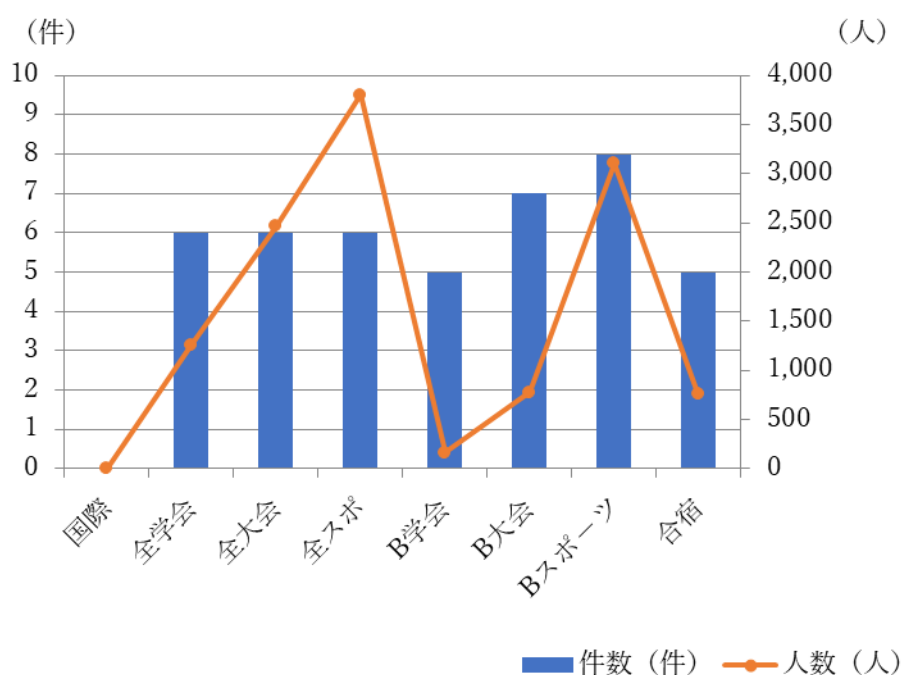
この資料は、今後のコンベンション振興に役立てるとともに、当ビューローが実施したコンベンション主催者アンケート、参加者アンケートによって試算し、コンベンションがもたらす経済効果の基礎資料とします。

なお、統計の中でのコンベンションの分類は、国際会議、学会、大会、スポーツ大会、合宿、教育旅行とし、学会、大会、スポーツ大会については全国規模とブロック規模に分けて集計しています。

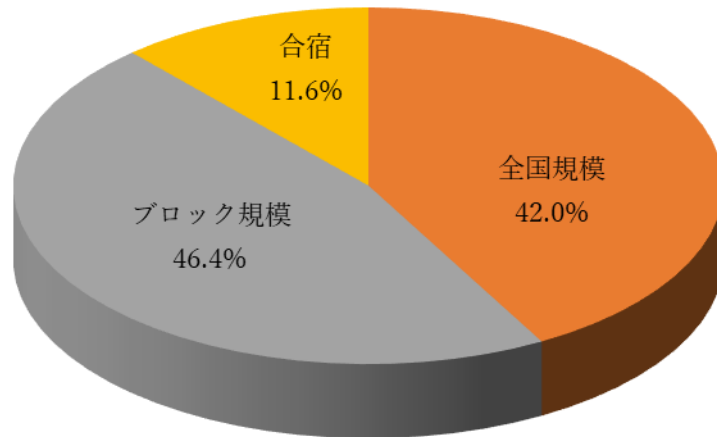
1 種類別開催状況

大会等	開催件数（件）		参加者数（人）			
	件数	（構成比%）	県内	県外	国外	合計（構成比%）
国際会議	0	（ 0.0 ）	0	0	0	0（ 0.0 ）
全国学会	6	（ 14.0 ）	196	1,065	0	1,261（ 10.2 ）
全国大会	6	（ 14.0 ）	99	2,369	0	2,468（ 20.0 ）
全国スポーツ大会	6	（ 14.0 ）	449	3,358	0	3,807（ 30.8 ）
ブロック学会	5	（ 11.6 ）	100	67	0	167（ 1.3 ）
ブロック大会	7	（ 16.2 ）	249	531	0	780（ 6.3 ）
ブロックスポーツ大会	8	（ 18.6 ）	649	2,460	0	3,109（ 25.2 ）
合 宿	5	（ 11.6 ）	277	487	0	764（ 6.2 ）
合 計	43	（ 100.0 ）	2,019	10,337	0	12,356（ 100.0 ）

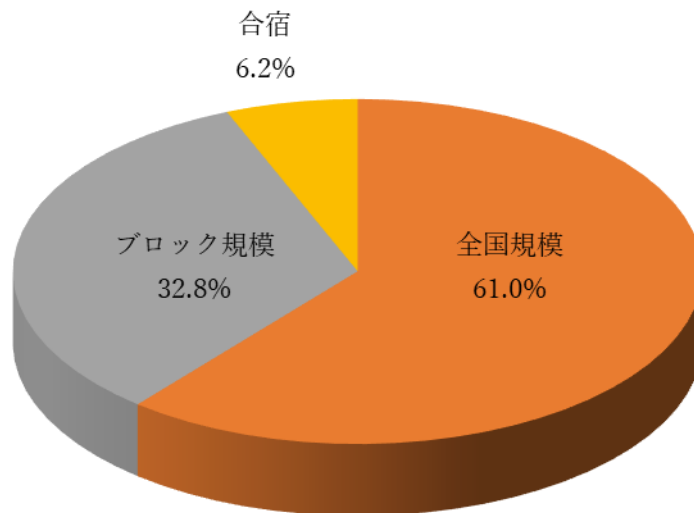
種類別開催状況



開催件数（構成比）



参加者数（構成比）

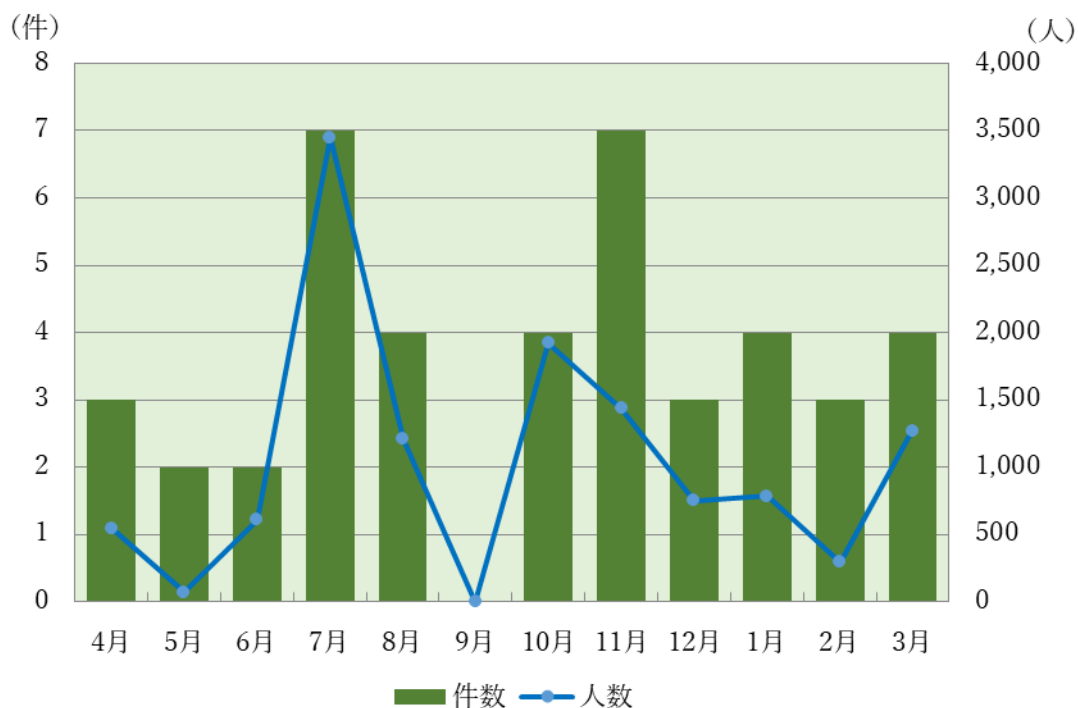


2 月別開催状況

月	件数	参加者数	参考(件数、参加者数)							
		人 (構成比%)	国際会議	全国規模	ブロック規模		合 宿			
4	3	547 (4.4)		1	328	2	219			
5	2	73 (0.6)				2	73			
6	2	610 (4.9)				2	610			
7	7	3,452 (27.9)		2	1,676	5	1,776			
8	4	1,210 (9.8)		1	320	2	863	1	27	
9	0	0 (0.0)								
10	4	1,925 (15.6)		1	1,800	3	125			
11	7	1,436 (11.6)		5	1,216	2	220			
12	3	751 (6.1)		1	542	1	110	1	99	
1	4	788 (6.4)		2	172			2	616	
2	3	294 (2.4)		1	212	1	60	1	22	
3	4	1,270 (10.3)		4	1,270					
計	43	12,356 (100.0)	0	0	18	7,536	20	4,056	5	764

今年もコロナ禍のため、予定されていた大会が中止やウェブ開催になるなど、どの月においても影響がありました。特に8月から10月にかけては、影響が大きく、8月は当初予定から13件減、9月、10月はともに18件減となりました。

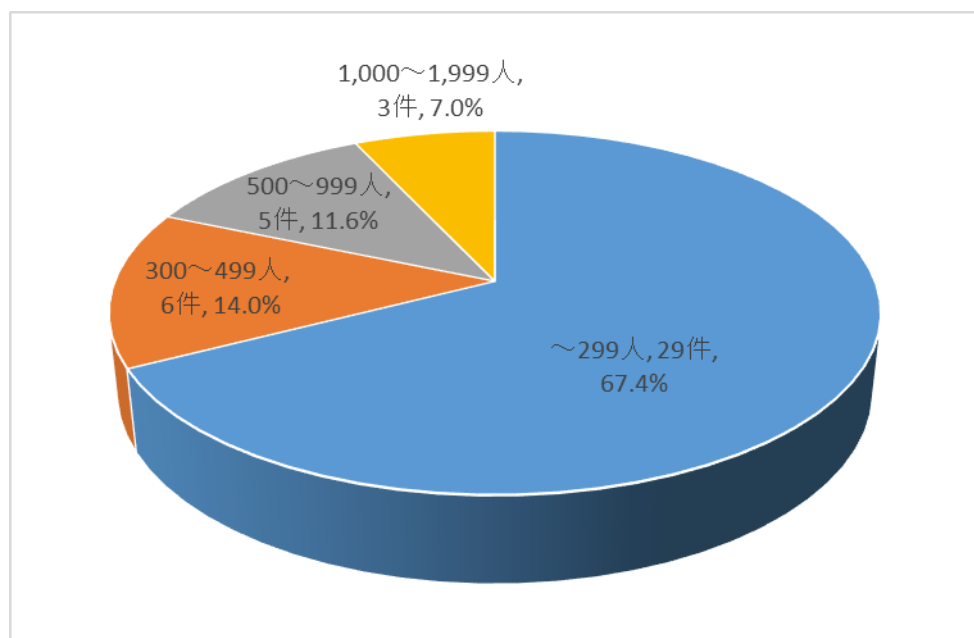
月別開催状況



3 参加者数別開催件数

規模別	～299	～499	～999	～1,999	2,000～	計
国際会議						0
全国学会	4	1	1			6
全国大会	4	1		1		6
全国スポーツ大会		2	3	1		6
ブロック学会	5					5
ブロック大会	7					7
ブロックスポーツ大会	5	1	1	1		8
合 宿	4	1				5
合 計 (全体に対する割合)	29 (67.4%)	6 (14.0%)	5 (11.6%)	3 (7.0%)	0 (0.0%)	43 (100%)

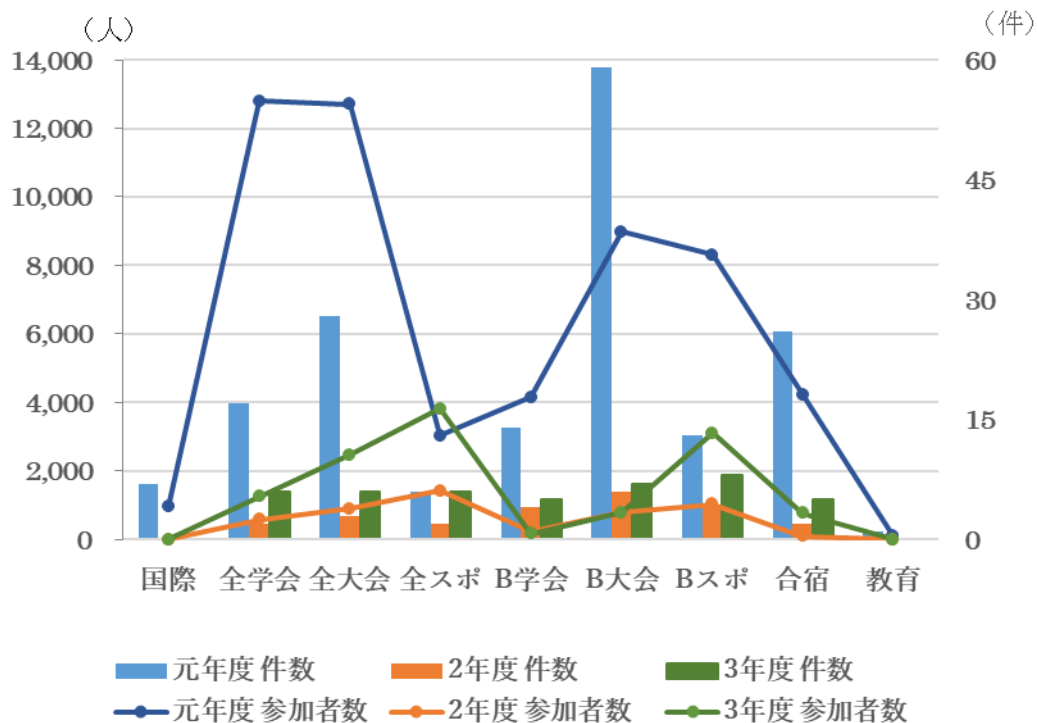
参加者数別開催件数



4 過去3年間の推移表

種類別	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	件数	参加者数	件数	参加者数	件数	参加者数
国際会議	7	958	0	0	0	0
全国学会	17	12,803	2	579	6	1,261
全国大会	28	12,702	3	902	6	2,468
全国スポーツ大会	6	3,028	2	1,426	6	3,807
ブロック学会	14	4,158	4	225	5	167
ブロック大会	59	8,979	6	806	7	780
ブロックスポーツ大会	13	8,307	4	1,020	8	3,109
合 宿	26	4,221	2	97	5	764
教育旅行	1	100	0	0	0	0
合 計	171	55,256	23	5,055	43	12,356

種類別開催状況



經濟波及效果

II コンベンションのもたらす波及効果について

コンベンションは、開催される会場だけで成り立つものではなく、交通機関、宿泊施設、飲食や、アフターコンベンションでの観光など、安全でホスピタリティが充実した、都市の総合的な魅力が開催の重要な要件となります。つまり、コンベンションは、都市の活性化、地域開発、言い換えればこれからの都市づくりの有効戦略ととらえることができます。

また、コンベンションには、経済的、社会的効果があり、これらは複合的に幅広く地域にその効果をもたらします。

「経済的効果」、「社会的効果」が地域内で相互の連携構造を確立することにより、直接的な経済効果である『人・モノ・カネ・情報』を集め、さらに間接的な経済効果である生産誘発効果、所得形成効果、雇用創出効果、税収増大効果などを通じ、新たな施設づくり、都市環境の整備を可能にし、さらに多くのコンベンション需要を生み出すことが可能となります。

1 経済的波及効果

経済的効果には、コンベンション関連施設の建設がもたらす効果とコンベンションの開催がもたらす効果があります。

これらのうち、施設建設による効果は一過性であるのに対して、開催による効果は繰り返し経済効果が見込めるため、より重要なのは後者と言えます。

コンベンションの開催による経済効果は、コンベンション主催者がコンベンションの準備や運営等を行うことで発生するものと、コンベンション参加者の消費により発生するものがあります。

2 社会的波及効果

社会的波及効果には、コンベンション開催そのものがもたらす効果とコンベンション参加者と地域との交流がもたらす効果とがあります。

コンベンション開催のもたらす効果には、開催都市、地域が国内外に向けて最新情報の発信基地となっていくこと、都市環境の整備促進や都市のイメージアップに結びつけていくことなどであり、コンベンション参加者と地域との交流がもたらす効果には、学術・教育などの面でのレベルアップや新たな文化の創出、街づくりなどの推進があります。

コンベンション都市構想を推進している国内外の都市は、この社会的効果の大きさに着目しています。

3 コンベンション開催による直接的経済効果

直接的経済効果とは、コンベンション開催に関わる経費と参加者の個人消費、すなわち主催者や参加者が、直接消費する支出であり、地元地域への売上増として直接発生するものです。参加者が個人消費するものには、宿泊費、飲食費、買物費や会場に来るまでの交通費、観光・レジャー費などがあります。主催者が直接消費するものには、会議開催前の費用としてパンフレット等を作成するための印刷・編集費、会場の展示・装飾のための費用があります。

また、開催期間中の費用として会場費、レセプション費、スタッフのための飲食費、交通費、宿泊費やアルバイト等の臨時雇用費などがあります。

そこで、令和3年度に開催された当ビューローの把握している四国大会以上のコンベンションの直接的経済効果を試算すれば、次のようになります。

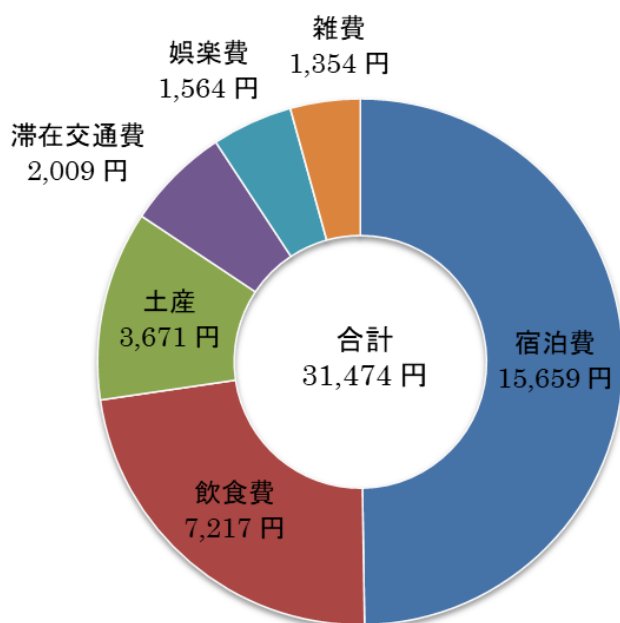
(1) 全国大会等開催補助金を交付した大会

ア 各種大会別集計・指数

大会等	件数	参加者数 (人)			1人あたり 平均 宿泊数 (泊)	泊単価 (円)	その他費用単価 (円)					
		総数	県内	県外			滞在 交通費	土産費	飲食費	娯楽費	雑費等	
国際会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
全国学会	4	1,176	167	1,009	1.41	7,653	1,918	3,663	10,100	3,115	1,750	
全国大会	2	423	15	408	2.87	5,910	899	5,025	13,400	1,510	1,800	
全国スポーツ	3	2,432	251	2,181	1.94	10,751	6,321	5,415	5,330	1,028	1,200	
ブロック学会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブロック大会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ブロックスポーツ	1	713	169	544	1.12	6,800	1,000	3,100	6,000	3,900	3,500	
合 宿	5	764	277	487	2.07	9,358	140	2,203	3,814	200	522	
全 体	15	5,508	879	4,629	1.82	8,604	2,009	3,671	7,217	1,564	1,354	15,815

(n=150)

参加者 1 人あたりの平均消費額



*宿泊費は 1 人あたり平均宿泊数 (1.82 泊) × 泊単価 (8,604 円)

イ 各種大会別経済効果推計

開催支援補助金を交付した大会の経済効果 (推計)

(単位: 千円)

大会等	主催者費用	参加者費用						合計
		宿泊費	滞在交通費	土産費	飲食費	娯楽費	雑費	
国際会議	0	0	0	0	0	0	0	0
全国学会	121,851	10,888	1,935	3,696	10,191	3,143	1,766	153,470
全国大会	10,744	6,920	367	2,050	5,467	616	734	26,898
全国スポーツ	11,192	45,489	13,786	11,810	11,625	2,242	2,617	98,761
国際・全国計	143,787	63,297	16,088	17,556	27,283	6,001	5,117	279,129
ブロック学会	0	0	0	0	0	0	0	0
ブロック大会	0	0	0	0	0	0	0	0
ブロックスポーツ	2,570	4,143	544	1,686	3,264	2,122	1,904	16,233
ブロック計	2,570	4,143	544	1,686	3,264	2,122	1,904	16,233
合 宿	4,622	9,434	68	1,073	1,857	97	254	17,405
合 計	150,979	76,874	16,700	20,315	32,404	8,220	7,275	312,767

312,767 千円 ... i

(2) その他の大会

ア 高松市及び近隣町

当ビューローで把握している四国大会以上の大会等で、全国大会等開催補助金を交付していないものは、28件、参加者 6,848人、うち県外参加者 5,708人となり、その費用は以下のとおりとなります。

*大会主催者の要する費用

$$\begin{array}{rcccl} \text{主催者費計} & \text{補助金交付大会} & \text{補助金不交付大会} & & \\ 150,979 \text{ 千円} \div & 15 \text{ 件} & \times & 28 \text{ 件} & = 281,827 \text{ 千円} \end{array}$$

*大会参加者の宿泊に要する費用

$$\begin{array}{rcl} \text{泊単価} & \text{県外参加者} & \text{平均泊数} \\ @8,604 \times 5,708 \text{ 人} \times 1.82 \text{ 泊} & & = 89,383 \text{ 千円} \end{array}$$

*大会参加者の交通・土産物・飲食、娯楽等に要する費用

$$\begin{array}{rcl} \text{その他費用} & \text{県外参加者} & \\ @15,815 \times 5,708 \text{ 人} & & = 90,272 \text{ 千円} \end{array}$$

高松市及び近隣町で開催支援補助金を交付していない大会の経済効果（推計）

461,482 千円 ... ii

以上 i、ii の合計の大会数 43 件、参加者 12,356 人、内県外参加者 10,337 人の直接的経済効果（推計）は

774,249 千円 となります。

(昨年度 353,410 千円)

イ 香川県内

当ビューローで把握している四国大会以上の大会等で、全国大会等開催補助金を交付していないものは、39件、参加者9,811人、うち県外参加者8,083人となり、その費用は以下のとおりとなります。

*大会主催者の要する経費

$$\begin{array}{rcccl} \text{大会経費計} & \text{補助金交付大会} & \text{補助金不交付大会} & & \\ 150,979 \text{ 千円} \div & 15 \text{ 件} & \times & 39 \text{ 件} & = 392,545 \text{ 千円} \end{array}$$

*大会参加者の宿泊に要する費用

$$\begin{array}{rcc} \text{泊単価} & \text{県外参加者} & \text{平均泊数} \\ @8,604 \times 8,083 \text{ 人} \times 1.82 & & = 126,574 \text{ 千円} \end{array}$$

*大会参加者の交通・土産物・飲食、娯楽等に要する費用

$$\begin{array}{rcc} \text{その他費用} & \text{県外参加者} & \\ @15,815 \times 8,083 \text{ 人} & & = 127,833 \text{ 千円} \end{array}$$

香川県内で開催支援補助金を交付していない大会の経済効果（推計）

646,952 千円 ... iii

以上 i、iii の合計の大会数 54 件、参加者 15,319 人、内県外参加者 12,712 人の直接的経済効果（推計）は

959,719 千円 となります。

（昨年度 417,755 千円）

4 コンベンション開催による間接的経済効果

間接的経済効果とは、コンベンション主催者や参加者の直接的な消費支出により新たに生じた需要に応えるため、各産業が原材料やサービスの生活活動を行うことにより発生するものです。

そこで、先に算出した令和元年度直接的経済効果を基礎に、コンベンションによる経済効果測定ハンドブック（日本 कांग्रेस・コンベンション・ビューロー）及び香川県産業連関表（平成 27 年）を参考に間接的経済効果を試算すると、次のようになります。

(1) 一次生産誘発効果

コンベンションに関連した消費支出は、各種産業の生産を誘発します。主催者や参加者による消費は、経済循環によって当初の需要を上回る中間生産物の生産をもたらします。これを一次生産誘発効果と呼び、その総額を一次生産誘発額と呼びます。

ここでは、コンベンションに関連した産業として、「商業」、「運輸」、「サービス業」の生産誘発係数を用いて、一次生産誘発額を算出します。

*生産誘発係数の平均値の算出

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{商業} & \text{運輸} & \text{サービス業} & & \text{平均値} & \\ & (1.30 + 1.39 + & 1.27 &) \div 3 = & 1.32 & & \end{array}$$

*一次生産誘発額

(高松市及び近隣町)

$$\begin{array}{ccccc} \text{直接的経済効果} & \text{平均値} & \text{一次生産誘発額} & & \\ 774,249 \text{ 千円} & \times 1.32 & = & 1,022,009 \text{ 千円} & \end{array}$$

(香川県内)

$$\begin{array}{ccccc} \text{直接的経済効果} & \text{平均値} & \text{一次生産誘発額} & & \\ 959,719 \text{ 千円} & \times 1.32 & = & 1,266,829 \text{ 千円} & \end{array}$$

高松市及び近隣町における一次生産誘発額

$$1,022,009 \text{ 千円} \quad \dots \quad \text{iv}$$

香川県内における一次生産誘発額

$$1,266,829 \text{ 千円} \quad \dots \quad \text{v}$$

(2) 二次生産誘発効果

一次生産誘発額からコンベンションに関連する産業が粗付加価値を生じ、そのうち純付加価値（雇用者所得と営業余剰）からさらなる消費（新たな民間消費支出）が生まれ、全産業に新たな需要を生み出します。これを二次生産誘発効果と呼び、その総額を二次生産誘発額と呼びます。

ア 純付加価値額

純付加価値額とは、粗付加価値から資産減耗を控除したものであり、生産活動を通じて、中間生産物の価値に新たに付け加えられた純価値のことです。

本推計では、「商業」、「運輸」、「サービス業」の産業連関表における雇用者所得と営業余剰の和を純付加価値として用います。その純付加価値を産業の生産額で除したものを純付加価値率と呼び、一次生産誘発額と純付加価値率を用いて純付加価値額を算出します。

* 純付加価値率

(商業)

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{雇用者所得} & & \text{営業余剰} & & \text{生産額} & \text{純付加価値率} \\ (& 254,762 \text{ 百万円} & + & 137,085 \text{ 百万円} &) \div & 717,062 \text{ 百万円} & = & 0.55 \end{array}$$

(運輸)

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{雇用者所得} & & \text{営業余剰} & & \text{生産額} & \text{純付加価値率} \\ (& 145,036 \text{ 百万円} & + & 36,370 \text{ 百万円} &) \div & 488,567 \text{ 百万円} & = & 0.37 \end{array}$$

(サービス業)

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{雇用者所得} & & \text{営業余剰} & & \text{生産額} & \text{純付加価値率} \\ (& 689,836 \text{ 百万円} & + & 157,415 \text{ 百万円} &) \div & 1,764,770 \text{ 百万円} & = & 0.48 \end{array}$$

平均値

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{商業} & & \text{運輸} & & \text{サービス業} & & \text{平均値} \\ (& 0.55 & + & 0.37 & + & 0.48 &) \div & 3 & = & 0.47 \end{array}$$

* 純付加価値額

(高松市及び近隣町)

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{一次生産誘発額} & & \text{平均値} & & \text{純付加価値額} \\ 1,022,009 \text{ 千円} & \times & 0.47 & = & 480,344 \text{ 千円} \end{array}$$

(香川県内)

$$\begin{array}{ccccccc} & \text{一次生産誘発額} & & \text{平均値} & & \text{純付加価値額} \\ 1,266,829 \text{ 千円} & \times & 0.47 & = & 595,410 \text{ 千円} \end{array}$$

イ 新たな消費支出額

新たな消費支出額は、純付加価値額の中から新たな消費に使われる額です。

本推計では、産業連関表における全産業民間消費支出の中で消費に使われる割合を求め、純付加価値額をこの割合を乗じたものを新たな消費支出額として算出します。

*消費支出割合

$$\begin{array}{rcccc} \text{民間消費支出} & & \text{雇用者所得} & & \text{営業余剰} & & \text{消費支出割合} \\ 2,185,809 \text{ 百万円} & \div & (1,854,571 \text{ 百万円} & + & 939,216 \text{ 百万円}) & = & 0.78 \end{array}$$

*新たな消費支出額

(高松市及び近隣町)

$$\begin{array}{rcccc} \text{純付加価値額} & & \text{消費支出割合} & & \text{新たな消費支出額} \\ 480,344 \text{ 千円} & \times & 0.78 & = & 374,668 \text{ 千円} \end{array}$$

(香川県内)

$$\begin{array}{rcccc} \text{純付加価値額} & & \text{消費支出割合} & & \text{新たな消費支出額} \\ 595,410 \text{ 千円} & \times & 0.78 & = & 464,420 \text{ 千円} \end{array}$$

ウ 二次生産誘発効果

コンベンション関連産業における新たな消費支出が全産業に及び、さらに全産業が消費支出を生み出します。これを二次生産誘発効果と呼びます。

二次生産誘発効果は、新たな消費支出額と産業連関表における全産業の平均生産誘発係数を用いて算出します。

平均生産誘発係数については、逆行列係数表の列和（全産業の和 15.87）より、全12産業の平均値を用います。

*平均生産誘発係数

$$\begin{array}{rcccc} \text{全産業} & \text{産業数} & & \text{平均生産誘発係数} \\ 15.87 \div & 12 & = & 1.32 \end{array}$$

*二次生産誘発額

(高松市及び近隣町)

$$\begin{array}{rcccc} \text{新たな消費支出額} & & \text{平均生産誘発係数} & & \text{二次生産誘発額} \\ 374,668 \text{ 千円} & \times & 1.32 & = & 494,562 \text{ 千円} \end{array}$$

(香川県内)

$$\begin{array}{rcccc} \text{新たな消費支出額} & & \text{平均生産誘発係数} & & \text{二次生産誘発額} \\ 464,420 \text{ 千円} & \times & 1.32 & = & 613,034 \text{ 千円} \end{array}$$

高松市及び近隣町における二次生産誘発額

494,562 千円 ... vi

香川県内における二次生産誘発額

613,034 千円 ... vii

iv、viの合計により、高松市及び近隣町における経済効果（推計）は

1,516,571 千円 となります。

また、v、viiの合計により、香川県内における経済効果（推計）は

1,879,863 千円 となります。

5 コンベンション開催による経済効果（推計）

高松市及び近隣町、香川県内のコンベンションがもたらす経済効果は、以下のとおりです。

高松市及び近隣町	1,516,571 千円
香川県内	1,879,863 千円

6 これまでの推移（平成 29 年度より）

(1) 経済効果の推移

高松市及び近隣町

(表 1)

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
直接的経済効果(A)	3,190,351	2,608,455	2,157,359	353,410	774,249
間接的経済効果(B)	3,418,087	2,794,653	2,068,398	338,836	742,322
経済効果(C)=(A)+(B)	6,608,438	5,403,108	4,225,757	692,246	1,516,571

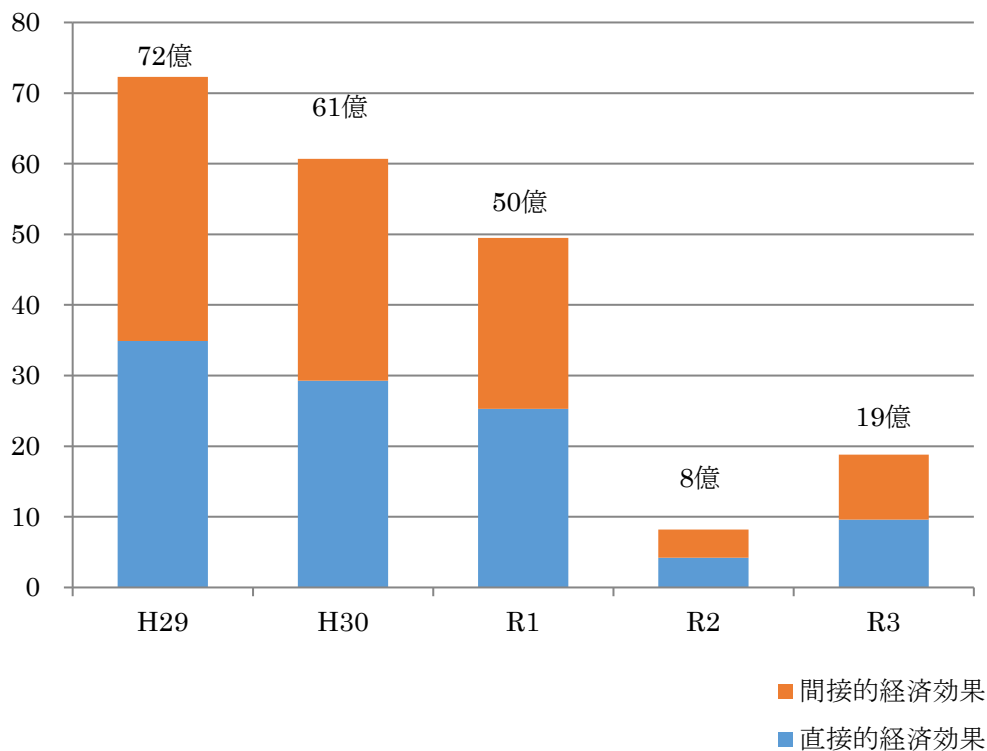
香川県

(表 2)

(単位：千円)

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
直接的経済効果(D)	3,490,469	2,934,727	2,527,911	417,755	959,719
間接的経済効果(E)	3,739,627	3,144,215	2,423,670	400,529	920,144
経済効果(F)=(D)+(E)	7,230,096	6,078,942	4,951,581	818,284	1,879,863

(億円)

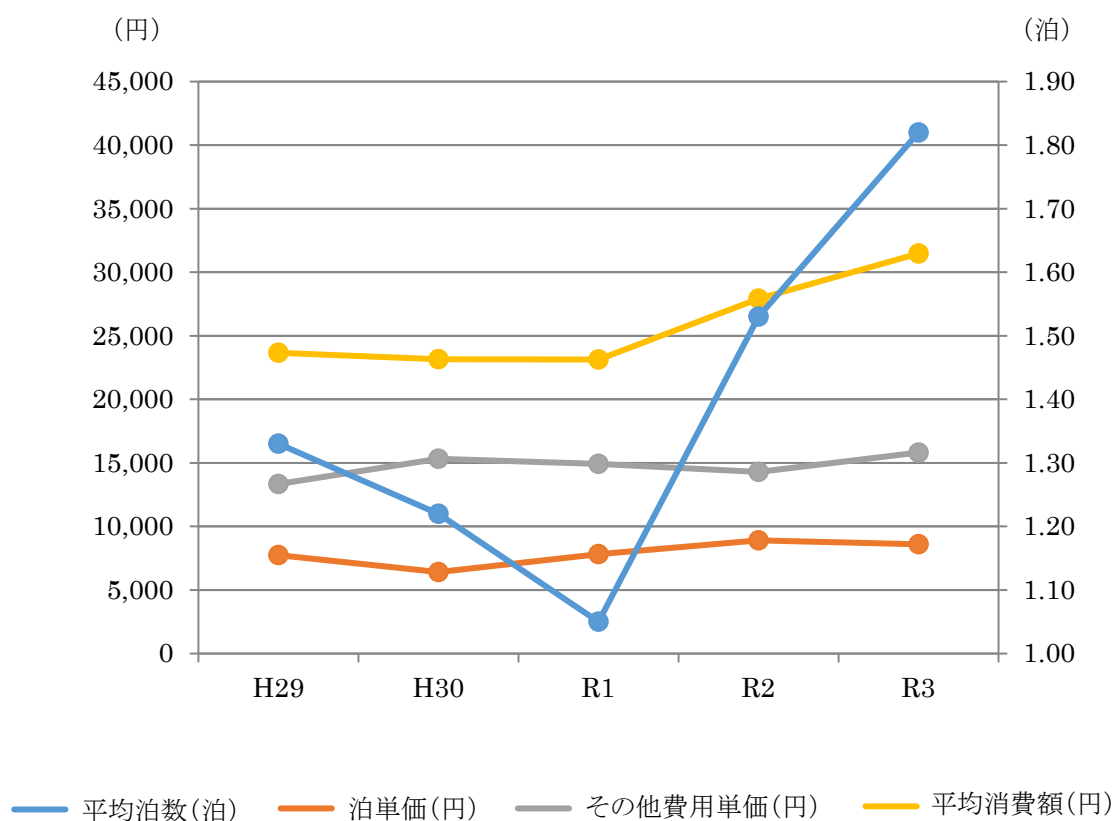


(2) 参加者関連指数の推移

(表3) 参加者1人あたりの平均値

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
平均泊数(泊)	1.33	1.22	1.05	1.53	1.82
泊単価(円)	7,752	6,414	7,827	8,907	8,604
その他費用単価(円)	13,340	15,330	14,912	14,287	15,815
平均消費額*(円)	23,650	23,155	23,130	27,915	31,474

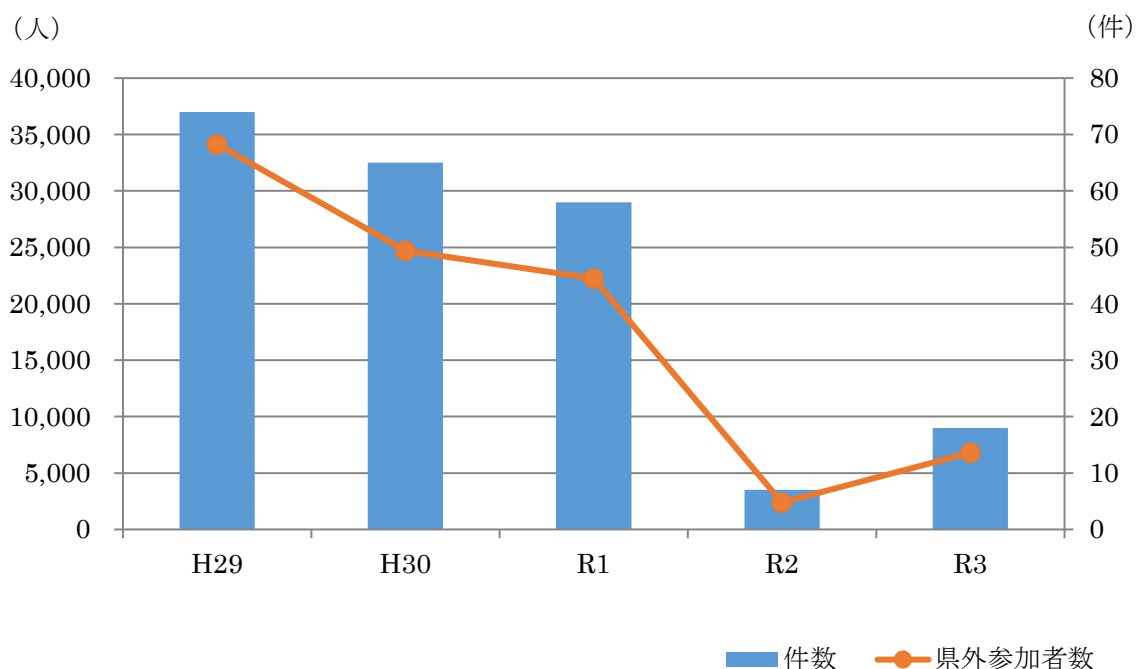
*平均消費額＝平均泊数×泊単価＋その他費用単価



(3) 全国規模等の推移（高松市及び近隣町）

(表 4)

	平成 29 年度		平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	件数	県外参加者数	件数	県外参加者数	件数	県外参加者数	件数	県外参加者数	件数	県外参加者数
国際会議	11	1,191	5	1,112	7	790	0	0	0	0
全国学会	20	17,382	17	6,918	17	12,102	2	494	6	1,065
全国大会	31	7,799	36	13,724	28	6,789	3	659	6	2,369
全国スポーツ大会	12	7,760	7	2,960	6	2,570	2	1,232	6	3,358
合 計	74	34,132	65	24,714	58	22,251	7	2,385	18	6,792



昨年度に引き続き、コロナ禍により予定されていた全国規模の学会等の多くが中止又はウェブ開催となりました。国際会議においては、当初 4 件の開催が予定されておりましたが、1 件は延期、3 件はウェブ開催になりました。

また学会、大会においては、ハイブリッド開催が主流となり、12 件のうち 8 件がハイブリッドで開催されました。

今後も、ウェブ開催やハイブリッド開催の継続が予想されます。当ビューローでは、新たな開催支援や経済効果を上げる施策等を検討しながら、より一層の誘致活動の強化と開催支援体制の充実を図ってまいります。

平成27年(2015年)香川県産業連関表
1-(4) 逆行列係数表(開放経済型)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	行和	感応度係数
	農林水産業	鉱業	製造業	建設	電力・ガス・水道	商業	金融・保険	不動産	運輸・郵便	情報通信	公務	サービス	分類不明		
01 農林水産業	1.036056	0.000427	0.014388	0.001172	0.000399	0.000378	0.000421	0.000112	0.000648	0.000591	0.000450	0.002913	0.000448	1.058402	0.786947
02 鉱業	0.000085	1.000105	0.001335	0.000139	0.002937	0.000091	0.000041	0.000020	0.000073	0.000062	0.000069	0.000100	0.000059	1.005116	0.747328
03 製造業	0.041229	0.018459	1.049030	0.041947	0.013762	0.007705	0.007722	0.001791	0.022577	0.010299	0.009889	0.020287	0.013439	1.258137	0.935455
04 建設	0.002912	0.005276	0.003155	1.001672	0.017135	0.004155	0.003561	0.008756	0.006760	0.005997	0.009275	0.003389	0.003617	1.075661	0.799779
05 電力・ガス・水道	0.013306	0.031311	0.030891	0.009286	1.106525	0.030731	0.011878	0.006416	0.017134	0.018815	0.021501	0.028486	0.015542	1.341822	0.997676
06 商業	0.025012	0.012474	0.020147	0.021413	0.009034	1.006068	0.004615	0.001349	0.014287	0.007146	0.006092	0.015900	0.007318	1.150855	0.855688
07 金融・保険	0.010025	0.056617	0.012420	0.020025	0.028152	0.024483	1.056477	0.080942	0.033836	0.014661	0.030921	0.016316	0.019030	1.403906	1.043837
08 不動産	0.005919	0.016369	0.006057	0.010377	0.009550	0.036805	0.023145	1.029197	0.030223	0.027409	0.005974	0.017460	0.044141	1.262625	0.938792
09 運輸・郵便	0.078083	0.249935	0.048955	0.068148	0.055315	0.057364	0.041849	0.007418	1.099504	0.042096	0.037636	0.034095	0.117986	1.938386	1.441236
10 情報通信	0.005653	0.009501	0.007829	0.011546	0.015718	0.030860	0.047960	0.006469	0.013835	1.141352	0.026315	0.024367	0.061706	1.403111	1.043246
11 公務	0.001108	0.003257	0.001406	0.003630	0.001217	0.001797	0.001416	0.000465	0.002294	0.001104	1.000523	0.001352	0.222423	1.241992	0.923451
12 サービス	0.032758	0.071081	0.042874	0.101668	0.085463	0.095783	0.131384	0.034784	0.135838	0.187285	0.124325	1.102144	0.108482	2.253871	1.675806
13 分類不明	0.004992	0.014678	0.006337	0.016356	0.005486	0.008096	0.006380	0.002094	0.010339	0.004976	0.002354	0.006092	1.002251	1.090431	0.810761
列和	1.257136	1.489491	1.244826	1.307381	1.350694	1.304316	1.336849	1.179811	1.387349	1.461794	1.275324	1.272902	1.616442		
影響力係数	0.934710	1.107472	0.925557	0.972068	1.004273	0.969789	0.993978	0.877217	1.031527	1.086879	0.948233	0.946433	1.201863		

平成27年(2015年)香川県産業連関表

1-1(1) 取引基本表(生産者価格評価表)

(単位: 百万円)

	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	70
	農林水産業	鉱業	製造業	建設	電力・ガス・水道	商業	金融・保険	不動産	運輸・郵便	情報通信	公務	サービス	分類不明	内生部門計
01 農林水産業	11548	0	86587	459	0	81	0	0	1	16	0	10	11536	110238
02 鉱業	2	0	262996	2887	50731	2	0	0	0	2	0	3	29	316660
03 製造業	31492	566	757635	127852	13371	21375	8009	1008	60886	7735	11403	212852	2086	1256270
04 建設	228	20	4745	285	3006	1907	672	4118	2542	908	2137	3854	0	24422
05 電力・ガス・水道	1168	180	66077	1925	21937	20085	2071	2465	5706	2609	4669	44746	262	173900
06 商業	6404	133	99463	21101	2948	6261	1298	475	12642	1722	2152	57547	313	212459
07 金融・保険	671	311	19268	6990	4363	12564	14602	38992	12596	1590	6922	19984	164	139017
08 不動産	241	47	6193	2477	1019	23024	5143	13532	11666	4338	473	23647	1491	93291
09 運輸・郵便	10662	2089	120746	35765	11336	45738	12239	1556	56441	8276	10001	59004	5335	379188
10 情報通信	401	19	13796	3882	2783	24620	15801	1310	4813	38306	7311	46253	2740	162035
11 公務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8922
12 サービス	2067	209	69652	41894	13521	58030	33451	11682	58165	35249	29779	162301	2345	518345
13 分類不明	423	79	11777	7006	741	4803	1399	642	4058	644	238	8486	0	40296
70 内生部門計	65307	3653	1518935	252523	125756	218490	94685	75781	229533	101377	75098	650239	23666	3435043
71 家計外消費支出(行)	673	282	28664	8703	1571	15210	7862	1516	6851	3125	2420	23002	150	100029
91 雇用者所得	13427	1743	346516	154077	14984	254762	85774	22508	145036	30962	94467	689836	479	1854571
92 営業余剰	22844	-1436	201296	23490	20091	137085	78406	207519	137085	36370	42701	157415	13435	939216
93 資本減耗引当	16673	2207	189477	17435	36256	62055	21335	177285	44599	31203	87853	197830	1972	886180
94 間接税(関税・輸入品商品税を除く。)	4756	327	41489	17697	6194	29812	5954	25205	27497	7373	401	54842	704	222251
95 (控除) 経常補助金	-4439	0	-892	-1821	-1667	-352	-4271	-107	-205	-4271	-3	-8394	-203	-23468
96 粗付加価値部門計	53994	3123	806550	219881	77429	498572	195060	433926	259034	115361	185141	1114531	16337	3978779
97 県内生産額	119241	6776	2325485	472104	203185	717062	289745	509707	488567	216738	260239	1764770	40203	7413822

	71	72	73	74	76	78	79	81	82	83	87	88	97
	家計外消費支出(列)	民間消費支出	一般政府消費支出	県総固定資本形成	在庫純増	県内最終需要計	県内需要合計	移輸出計	最終需要計	需要合計	(控除) 移輸入計	最終需要計	県内生産額
01 農林水産業	505	27606	0	1901	299	30311	140549	69605	99916	210154	-90913	9003	119241
02 鉱業	-40	-46	0	-37	-173	-296	316364	3433	3137	319797	-313021	-309884	6776
03 製造業	12157	456523	75	222067	-20194	670628	1926898	2064117	2734745	3991015	-1665530	1069215	2325485
04 建設	0	0	0	447682	0	447682	472104	0	447682	472104	0	447682	472104
05 電力・ガス・水道	70	62897	-1538	0	0	61429	235329	316	61745	235645	-32460	29285	203185
06 商業	12337	322588	62	42642	1440	379069	591528	475235	854304	1066763	-349701	504603	717062
07 金融・保険	2	143819	0	0	0	143821	282838	16464	160285	299302	-9557	150728	289745
08 不動産	0	418322	115	6558	0	424995	518286	855	425850	519141	-9434	416416	509707
09 運輸・郵便	3086	106130	2045	4668	386	116315	495503	133095	249410	628598	-140031	109379	488567
10 情報通信	1340	108055	70	38742	-198	148009	310044	6947	154956	316991	-100253	54703	216738
11 公務	0	9077	242240	0	0	251317	260239	0	251317	260239	0	251317	260239
12 サービス	70572	530763	630604	102517	0	1334456	1852801	137785	1472241	1990586	-225816	1246425	1764770
13 分類不明	0	75	0	0	0	75	40371	94	169	40465	-262	-93	40203
70 内生部門計	10029	2185809	873673	866740	-18440	4007811	7442854	2907946	6915757	10350800	-2936978	3978779	7413822